

◆ 病院概要

● 開設者名 新潟県 ● 病院長名 佐藤 信昭

● 標榜診療科目

内科、脳神経内科、外科、消化器外科、乳腺外科、呼吸器外科、整形外科、脳神経外科、精神科、小児科、皮膚科、泌尿器科、婦人科、眼科、頭頸部外科、形成外科、リハビリテーション科、放射線診断科、放射線治療科、歯科口腔外科、麻酔科、病理診断科、緩和ケア内科

● 使用許可病床数

	使用許可病床数	一日平均入院患者数
一般	421床	323.2人

● 一日平均外来患者数 1,012.5人

● 医師数 常勤 92人 非常勤 3.2人

● 年間手術件数 5,520件

● 病院併設施設 無

● 救急告示病院の指定 有

● 学会指定施設の状況

JCOG(胃がんグループ)参加施設、JCOG(食道がんグループ)参加施設、JCOG(肺がん外科グループ)参加施設、JCOG(乳がんグループ)参加施設、JCOG(皮膚腫瘍グループ)参加施設、JCOG(肺がん内科グループ)参加施設、呼吸器外科専門医合同委員会呼吸器外科専門医制度基幹施設、日本骨髄バンク(骨髄移植推進財団)非血縁者間骨髄採取認定施設・非血縁者間骨髄移植認定施設、日本医学放射線学会放射線科専門医総合修練機関、日本医療機能評価機構認定、日本医療薬学会がん専門薬剤師研修施設認定、日本インターベンショナルラジオロジー学会(日本IVR学会)専門医修練施設、日本核医学会専門医教育病院、日本眼科学会研修施設、日本肝胆膵外科学会高度技能医修練施設A、日本がん治療認定医機構認定研修施設、日本緩和医療学会認定研修施設、日本外科学会外科専門医制度修練施設、日本血液学会認定血液研修施設、日本呼吸器学会認定施設、日本呼吸器内視鏡学会専門医制度認定施設、日本産科婦人科学会専門医制度専攻医指導施設、日本消化器外科学会専門医修練施設、日本静脈経腸栄養学会栄養サポートチーム専門療法士認定規則実地修練認定教育施設、日本整形外科学会認定医制度研修施設、日本胆道学会認定指導医制度指導施設、日本内科学会認定医制度教育病院、日本乳癌学会認定施設、日本皮膚科学会認定専門医研修施設、日本病院薬剤師会がん専門薬剤師研修事業暫定認定研修施設、日本病理学会研修認定施設B、日本婦人科腫瘍学会専門医制度指定修練施設、日本麻酔科学会認定病院、日本輸血・細胞治療学会指定研修施設、日本輸血・細胞治療学会認定医制度指定施設、日本輸血・細胞治療学会I&A認証施設、日本臨床衛生検査技師会精度保証施設、日本臨床細胞学会施設、日本臨床細胞学会教育研修施設、日本臨床腫瘍学会認定研修施設、日本食道学会食道外科専門医認定施設、日本小児血液学会、日本小児がん学会小児血液・小児がん専門医研修施設、日本乳房オンコプラスティックサージャリー学会エキスパンダー実施施設、日本乳房オンコプラスティックサージャリー学会インプラント実施施設、日本静脈経腸栄養学会NST稼働施設、日本呼吸器内視鏡学会専門医制度関連施設、日本超音波医学会研修施設、日本消化器病学会認定施設、日本消化器内視鏡学会指導施設、日本大腸肛門病学会認定施設、NCD施設会員



医学生の皆様へ

当院は、県民をはじめとする全ての患者さんに、最善のがん医療を提供することを基本理念としています。医療技術が高度化・専門分化する一方で、医療の現場では患者さんの身体的、社会的、心理的な面までもを包括する全人的な医療が求められており、チーム医療の重要性が増しています。がんの診療では、その診断から治療～治療後にわたって多くの診療科や診療部門が関わります。全人的なチーム医療を学ぶには最適な疾患群であると考えます。

新潟県立がんセンター新潟病院は、新潟県の都道府県がん診療連携拠点病院として、予防から診断、治療、緩和ケアにいたるまで高度ながん診療を提供し、地域のがん診療において中心的な役割を果たしています。臨床研修では、困難な病態と対峙しているがん患者さんの課題をリストアップし、その解決方法について指導医や多職種とともに考え、実践していきます。その中で、最先端の医療技術に触れ、多くを学ぶことができます。当院の研修では、内科系、外科系の基本研修のほか、緩和ケア科、病理診断科、放射線科(診断・治療)といった、がん専門病院ならではの特徴のある診療科も選択可能です。また、多くのがん患者さんは、高血圧症や糖尿病をはじめとする複数の併存症を有しており、がん診療においてそれらへの対処もあわせて求められることから、研修を通じてプライマリケアの知識と実践能力を身に付けることができます。

令和2年度から初期臨床研修制度が改正され、必修科目は従来の3科(内科、救急、地域医療)に、外科、産婦人科、小児科、精神科が追加され、合計7診療科になりました。当院のプログラムでは、新潟県立新発田病院、新潟県立中央病院、新潟県立十日町病院、新潟県立松代病院、新潟県立津川病院と多様性に富んだ臨床研修病院群を形成しています。内科、外科については主に当院での研修をしていただき、救急、小児科、産婦人科、精神科については魚沼基幹病院での研修を基本とします。地域治療や一般内科研修など、他診療科目については、研修病院群の中で希望に応じて柔軟に対応します。

後期研修については、当院では、日本内科学会の内科専門医研修プログラムを展開するとともに、新潟大学をはじめとする教育研究機関と深く連携しています。初期臨床研修後の進路についても、希望に応じ、研修医の可能性を最大化できるように配慮します。

“がん”を切り口に、全人的なチーム医療を学び、実践しながら、医師としての礎を築いていきませんか？



◆ Access



照会先
 庶務課 臨床研修医採用担当
 TEL 025-266-5111 FAX 025-266-5112
 メールアドレス kensyu@niigata-cc.jp

病院見学の受入 随時
 申込方法
 氏名、大学名、学年、見学希望日、見学希望の診療科を明記して、メールにてお申し込みください。

- 【電車】 JR越後線「白山駅」下車 徒歩1分 【高速バス】 新潟行「がんセンター前」下車
 【市内バス】 新潟駅前、万代シティ、古町、市役所、青山方面より BRT萬代橋ライン「白山駅前」下車 徒歩3分
 新潟駅南口、上所、近江、出来島方面より C1県庁線「がんセンター前」下車
 新潟大学病院より S1市民病院線「がんセンター前」下車

研修概要

研修プログラムの目的と特徴 (令和3年度研修医)

● 目的

新潟県立がんセンター新潟病院を基幹型として、新潟県内の診療機能の異なる複数の病院（魚沼基幹病院、県立新発田病院、県立十日町病院、県立津川病院）を臨床研修病院群として組織し、連携して研修することにより下記目標を達成する。
 一般目標； 疾病の予防、診断、治療までを全人的に学び、患者の立場にたったチーム医療を実践できるようになることを目標とする。
 行動目標； (1) 診療情報を適切な病歴聴取と身体診察により収集・整理し正確に記載できる。
 (2) プロブレムリストをリストアップし、多角的なアプローチで診療を立案できる。
 (3) 標準的な診療方針について理解し、実践できる。
 (4) 最新の診療情報を収集し、継続的に学習する姿勢を身につける。
 (5) 多職種と連携・協調し、チームの一員として診療を実践できる。

● 特徴

- ①がんを切り口に全人的なチーム医療を学び、実践できる。
- ②最新の医療技術、情報を学ぶことができる。
- ③がん専門病院ならではの、特徴ある診療科；緩和ケア科、病理診断科、放射線科（診断、治療）での研修を選択できる。
- ④臨床研修病院群の中で、多様な研修を展開できる。

令和3年度 新潟県立がんセンター新潟病院 臨床研修プログラム 研修スケジュール概要

1年目					
内科 24週		麻酔科 4週	外科 8週	救急 12週	小児科 4週
2年目					
産婦人科 4週	精神科 4週	一般内科 4週	地域医療 4週	自由選択 16週	自由選択 20週
		一般外来 4週			

■ 新潟県立がんセンター新潟病院で研修
 ■ 魚沼基幹病院 他連携病院、施設で研修

* 上記はモデルケースです。

本プログラムでは初年度に新潟県立がんセンター新潟病院で呼吸器内科、血液内科、消化器内科を中心に内科から研修を開始した後、麻酔科と外科研修に進みます。がん診療をひとつの切り口としてチーム医療、最先端医療について学ぶとともに、さまざまな合併症や社会的背景を有する患者さんに対応する中でプライマリーケアの基本についても学ぶことができます。その後、研修の場を魚沼基幹病院に移し、救命救急外来からプライマリーケア、そしてそこから高度医療へつながる一連の流れを学び、小児科、産婦人科、精神科の必修科目研修を行います。地域医療研修は県立十日町病院、県立松代病院、県立津川病院で行い、地域中核病院としての医療や診療所での外来診療、在宅医療など、幅広い研修が可能です。一般外来研修は地域医療研修で行い、特定の症候や疾病に偏ることなく初診患者の診療及び慢性疾患患者の継続診療について学びます。研修後期は選択研修を中心とし当院および魚沼基幹院、新潟県立新発田病院、新潟県立中央病院の各診療科の中から自由に選択し、専門研修への移行を視野に入れた研修を行います。特徴のある多様な病院での研修を通じて、多角的、全人的な医療のあり方を学び、医療者としての強固な基盤を築くことが可能です。

● 協力病院・協力施設

魚沼基幹病院、新潟県立十日町病院、新潟県立松代病院 等

● 研修医の待遇 (2021年度研修医)

1年次月額	基本給	310,000円
	当直手当	10,500円/回
	月額平均計	370,000円
2年次月額	基本給	340,000円
	当直手当	21,000円/回
	月額平均計	440,000円

● 勤務体制 勤務時間： 8：30～17：15

日直： //
 当直： 17：15～ 8：30

● 研修医当直 回数 (月平均) 4回/月

当直時の勤務体制 (研修医以外の当直医数) 1人
 (当直研修医数) 1人

研修医単独の当直はなく、必ず指導医と一緒に当直する。

● 研修医の学習環境

居室 専用の研修室有、専用の机有、ソファ等有
 図書・文献 図書室：平日の8：30～17：15利用可能
 医学図書7,000冊以上 Web利用可能
 インターネット環境 各自の机からインターネット接続可能

● 研修の宿舍の有無など

宿舍 無 規定により算定した住宅手当を支給 (上限27,000円) します。
 食事 朝食は売店、昼食は職員食堂・弁当宅配・売店・夕食は外食・近隣にコンビニエンスストア有

